



会津医療センターから こんにちは！



— — — — —
【19】臨床医学部門（病理診断科）
教授 北條 洋

— — — — —
『より良質の医療を提供』

小 学校低学年の子どもに聞かれました！「お父さん、お母さんの仕事は？」。病理医の私の答えは…。

「お医者さんだよ。お医者さんには、病気の人を治したり、どんな病気が調べたり、病気にならない方法を教えたり、病気を治す方法を研究する人もいるよ。人の命を預かるのでまちがいないようにいつも気をつけているし、そのためにずっと勉強が続くよ。患者さんの具合が悪いと夜中でも駆け付けることがあるし、大変だけど命を預かる大切な仕事だよ。お医者さんの中で、体の一部（組織や細胞）をとってどんな病気が調べる仕事（病理医）をしているよ。病気の名前（病理診断）がわかると治す方法がよく分かるよ。病気の人を治すにはお医者さんだけではダメで、看護師さん、薬剤師さん、検査や事務をする人、栄養士さん、リハビリなど体や心の調子を良くしてくれる人、学校の先生などたくさんの方が必要なんだ（チーム医療）」

具体的には、患者さんの体から採取された病変の組織や細胞を顕微鏡で観察し病気の診断をするのが病理診断です。診断は日本病理学会が認定した専門病理医が行います。病理診断は最終診断として主治医に報告され、最適治療や予防に生かされます。

病院に専門病理医がいることは、より良質の医療の提供につながります。病理診断には以下の種類があります。①手術中の迅速診断、②生検組織診断、③手術で摘出された臓器・組織の診断、④細胞診断、病理解剖診断です。

標榜臨床診療科の一つである会津医療センター病理診断科は、的確な病理診断、各診療科の臨床医との連携プレーにより高度で高質の現代医療を担っています。私の専門研究分野は小児がん、リンパ腫の病理です。小児がんでは国内の専門家が日本小児がん研究グループ（JCCG）に結集し、一員として中央病理診断、標準的治療の開発、治療成績の向上に取り組んでいます。リンパ腫など血液疾患については、中央病理診断の経験を踏まえ会津地域の治療を担う当センターの血液内科に最新・最良の診断を提供しています。